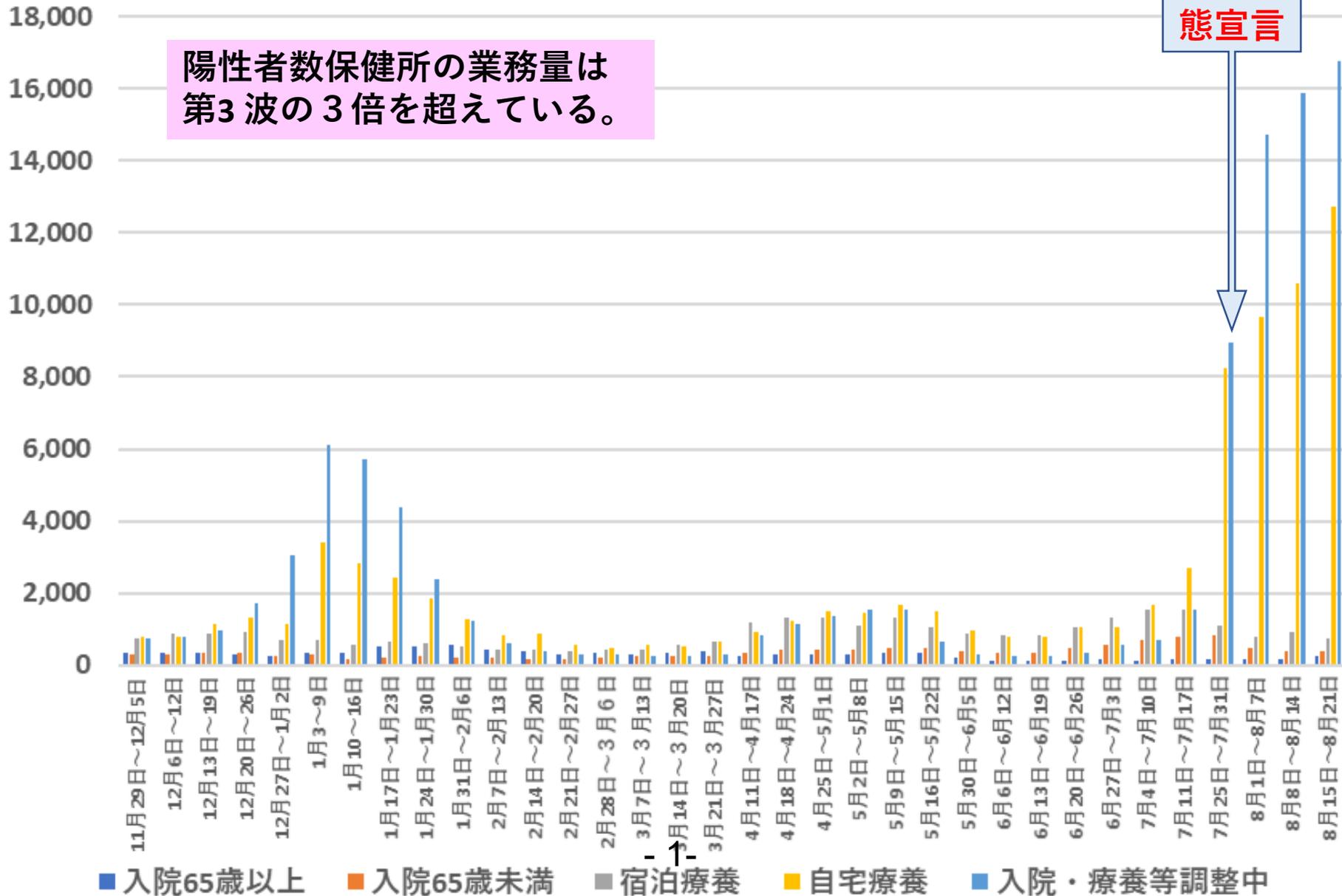


# 東京都内の陽性者の調整状況（時系列）

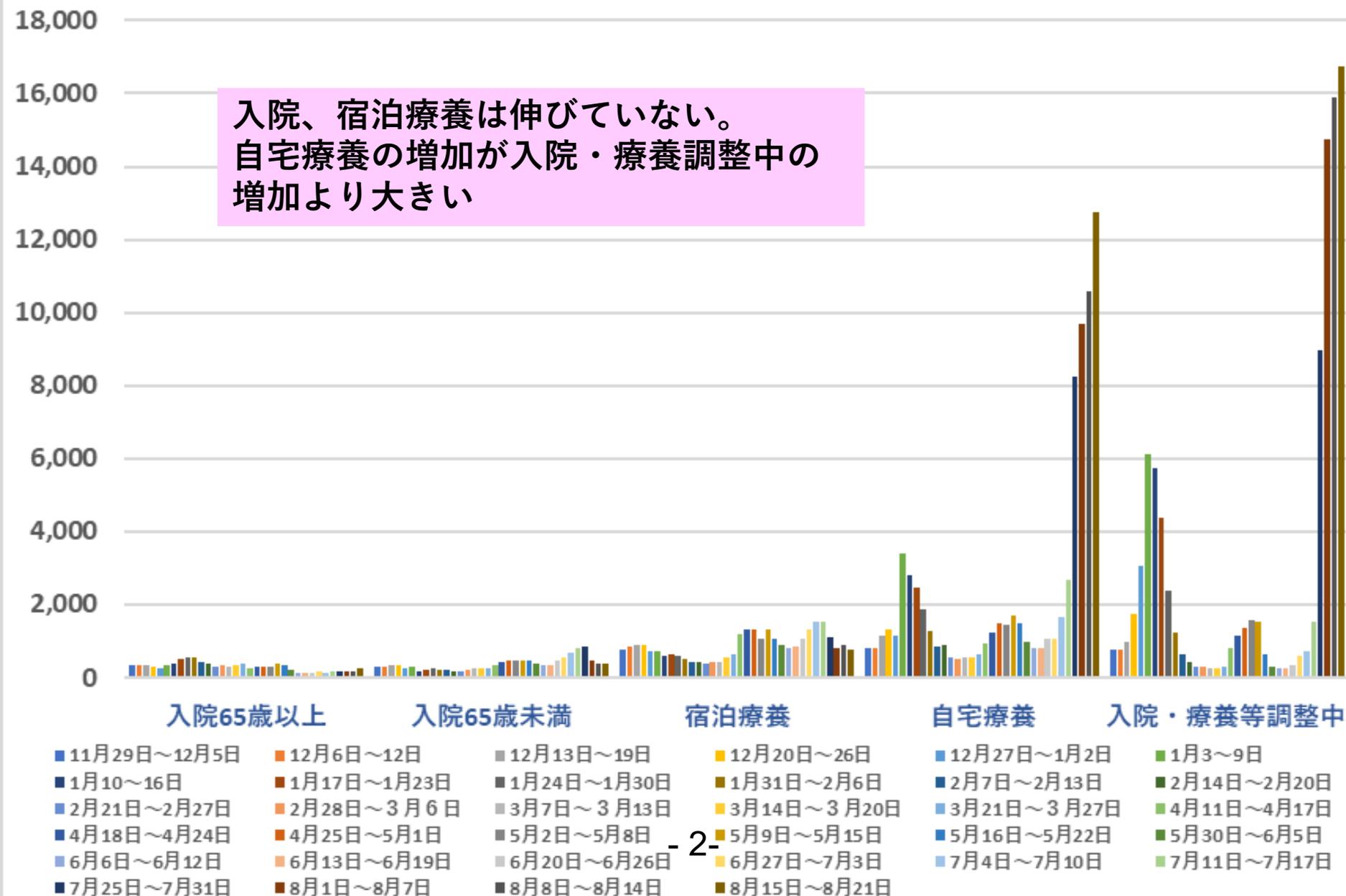
陽性者数保健所の業務量は第3波の3倍を超えている。

緊急事態宣言



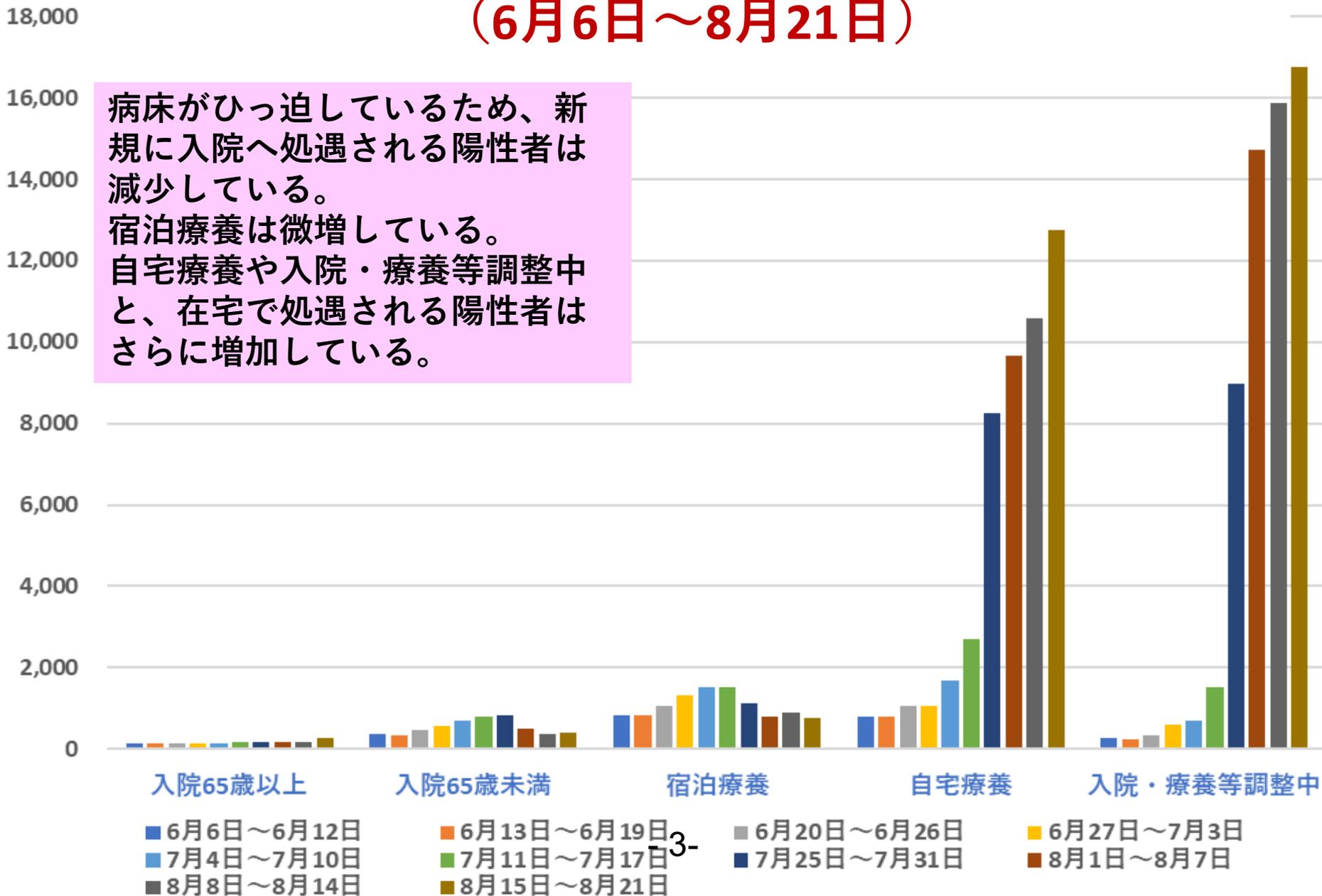
# 東京都内の陽性者の調整状況（処遇別）

入院、宿泊療養は伸びていない。  
 自宅療養の増加が入院・療養調整中の  
 増加より大きい



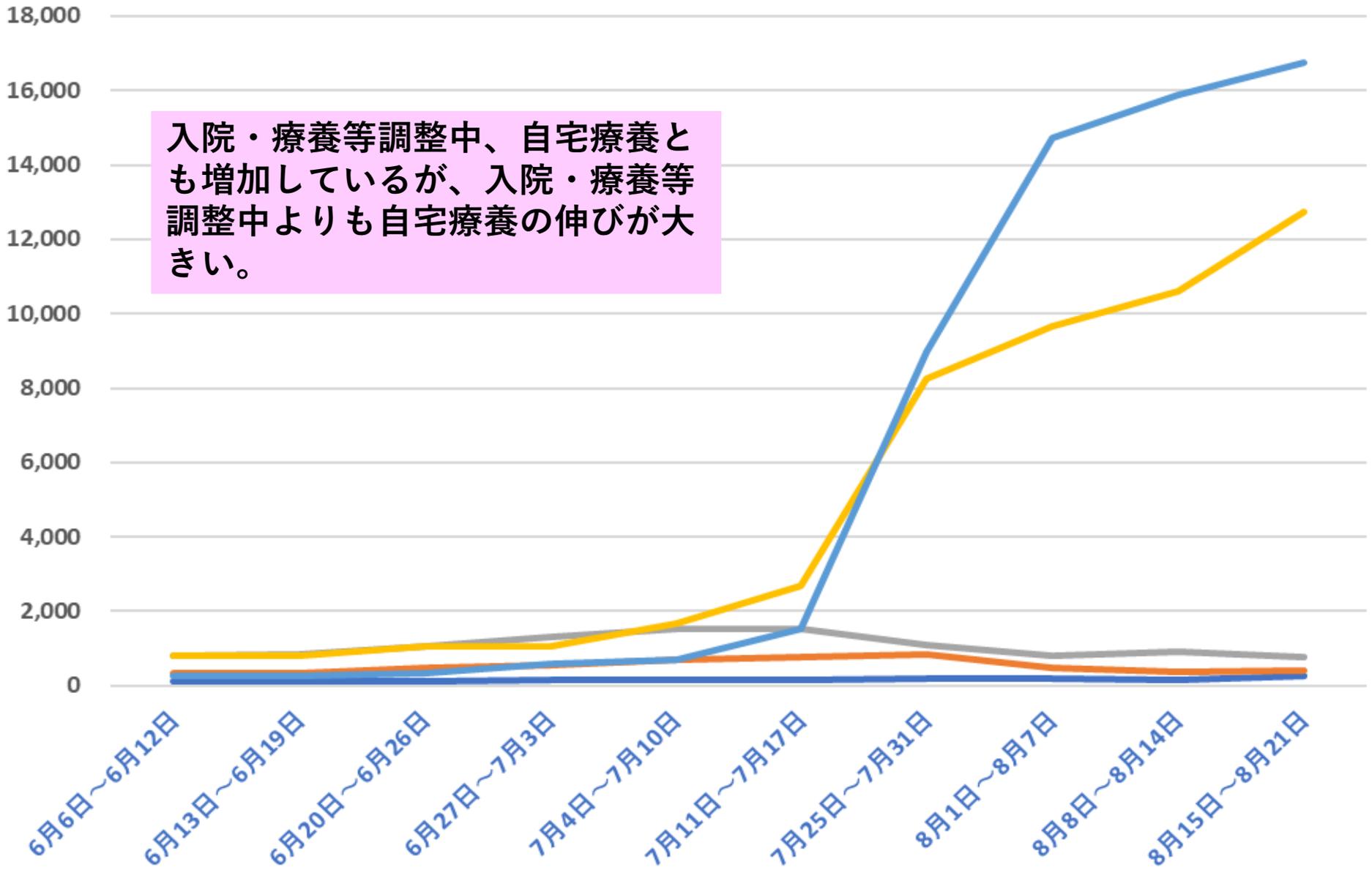
# 東京都内の陽性者の調整状況（処遇別） （6月6日～8月21日）

病床がひっ迫しているため、新規に入院へ処遇される陽性者は減少している。  
 宿泊療養は微増している。  
 自宅療養や入院・療養等調整中と、在宅で処遇される陽性者はさらに増加している。



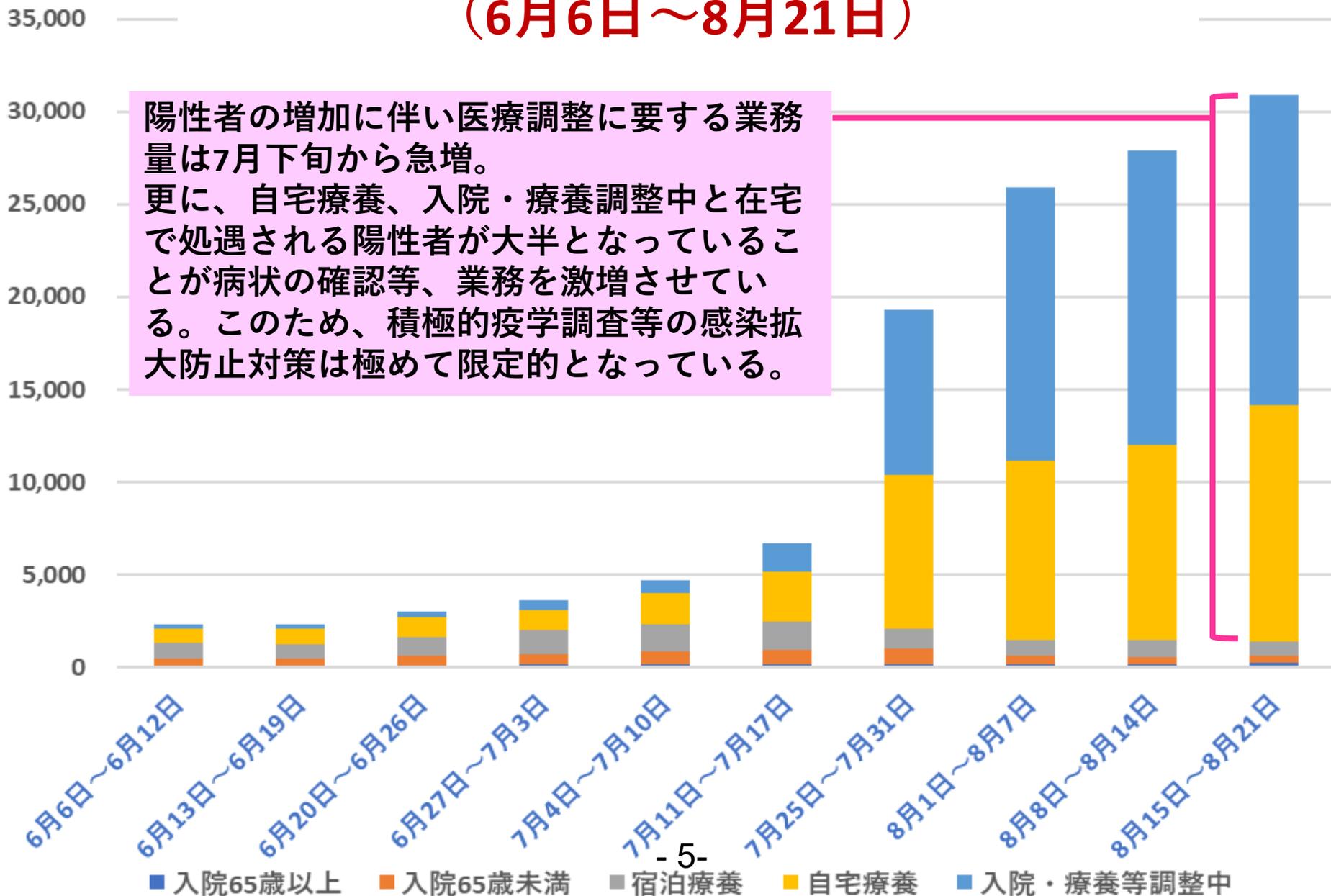
# グラフタイトル

入院・療養等調整中、自宅療養とも増加しているが、入院・療養等調整中よりも自宅療養の伸びが大きい。

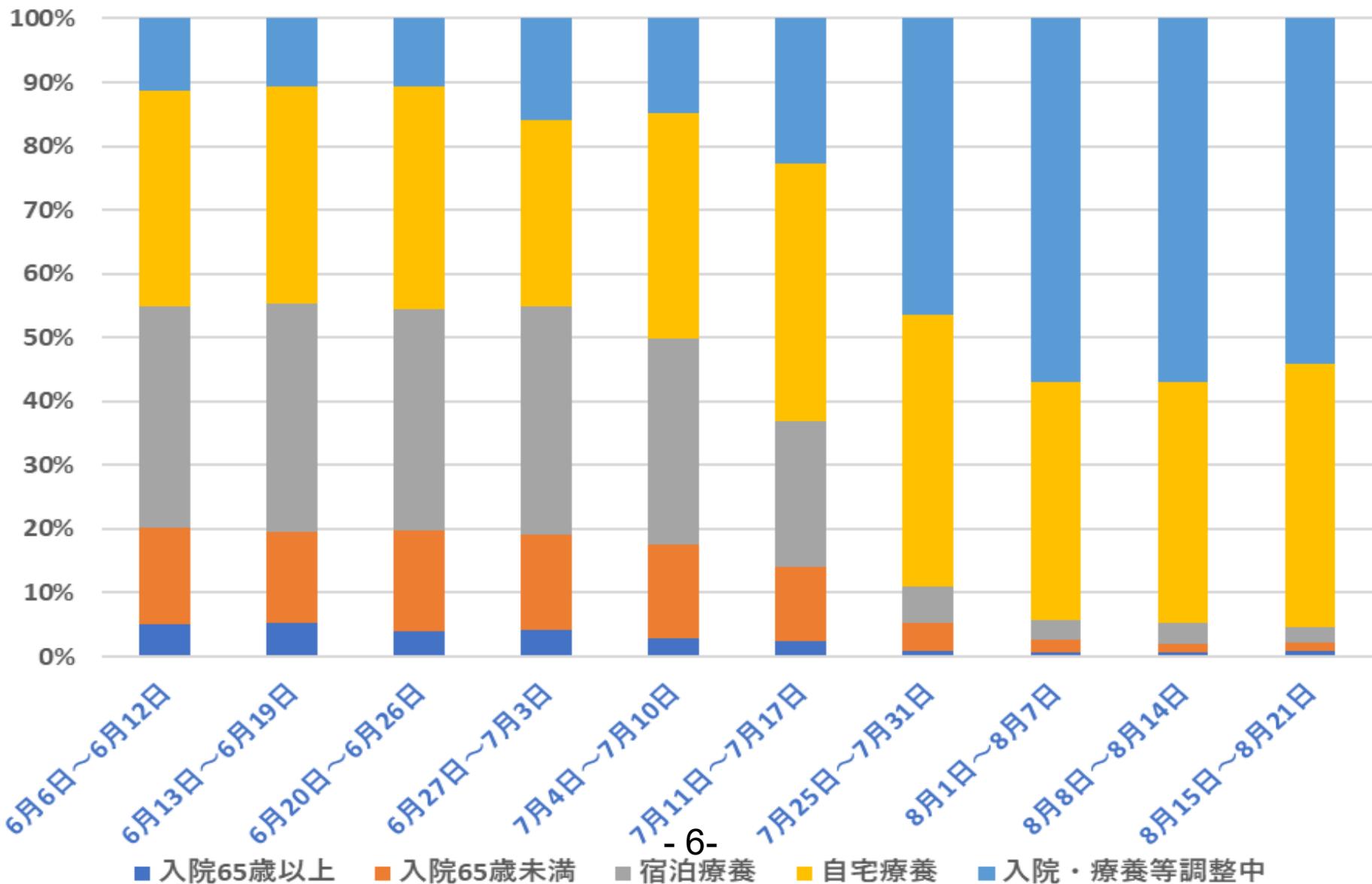


# 東京都内の陽性者の調整状況（時系列） （6月6日～8月21日）

陽性者の増加に伴い医療調整に要する業務量は7月下旬から急増。  
更に、自宅療養、入院・療養調整中と在宅で処遇される陽性者が大半となっていることが病状の確認等、業務を激増させている。このため、積極的疫学調査等の感染拡大防止対策は極めて限定的となっている。

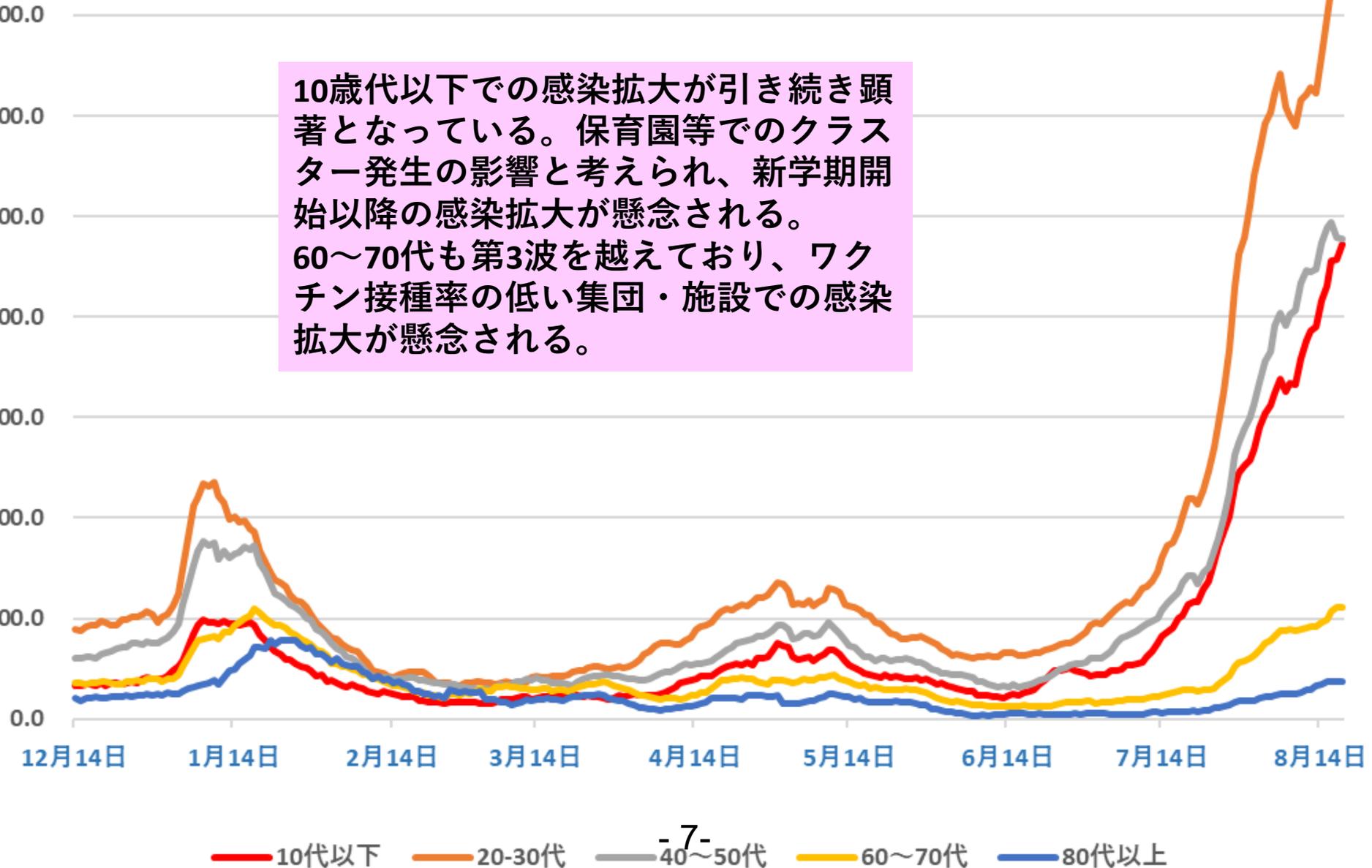


# 東京都内の陽性者の調整状況割合（時系列） （6月6日～8月21日）



# 東京都年代別新規陽性者数<sup>イ</sup>(七日間移動平均)の推移 <接触歴あり> (12月14日~8月18日)

10歳代以下での感染拡大が引き続き顕著となっている。保育園等でのクラスター発生の影響と考えられ、新学期開始以降の感染拡大が懸念される。  
60~70代も第3波を越えており、ワクチン接種率の低い集団・施設での感染拡大が懸念される。



# 東京都年代別新規陽性者数（七日間移動平均）の推移 ＜接触歴あり＞（12月14日～8月18日）

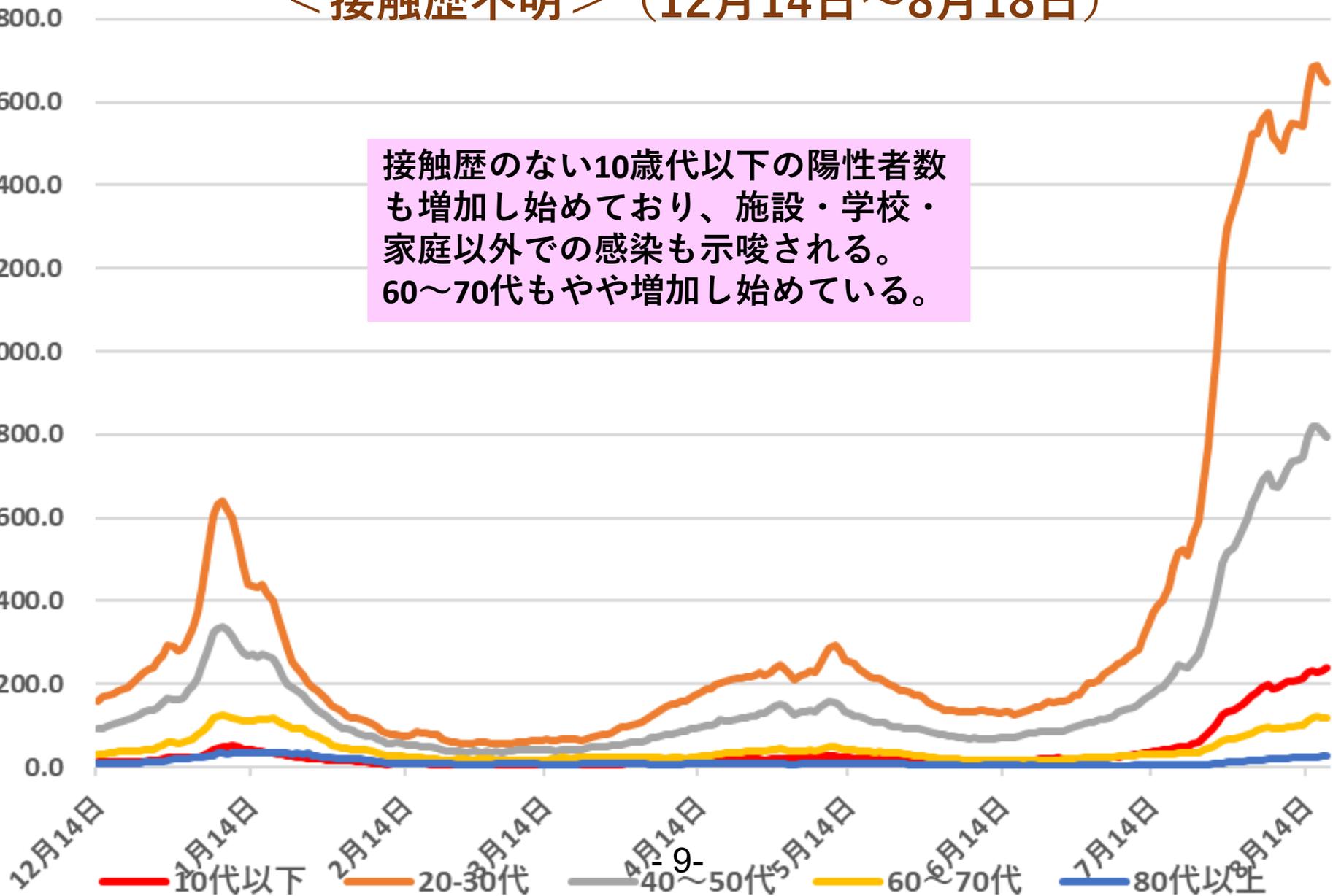
20歳代は8月上旬にやや鈍化傾向にあったが、再び増加している。  
10歳代以下での感染拡大が引き続き顕著で、保育園等でのクラスター発生の影響と考えられる。  
60代に引き続き70代も増加傾向にある。

6月14日 6月21日 6月28日 7月5日 7月12日 7月19日 7月26日 8月2日 8月9日 8月16日

10歳未満 10代 20代 30代 40代  
50代 60代 70代 80代 90代以上

# 東京都年代別新規陽性者数（七日間移動平均）の推移 ＜接触歴不明＞（12月14日～8月18日）

接触歴のない10歳代以下の陽性者数も増加し始めており、施設・学校・家庭以外での感染も示唆される。60～70代もやや増加し始めている。



10000.0

# 東京都年代別新規陽性者数（七日間移動平均）の推移 < 接触歴不明 >（12月14日～8月18日）対数グラフ

全年齢で増加傾向にある。

1000.0

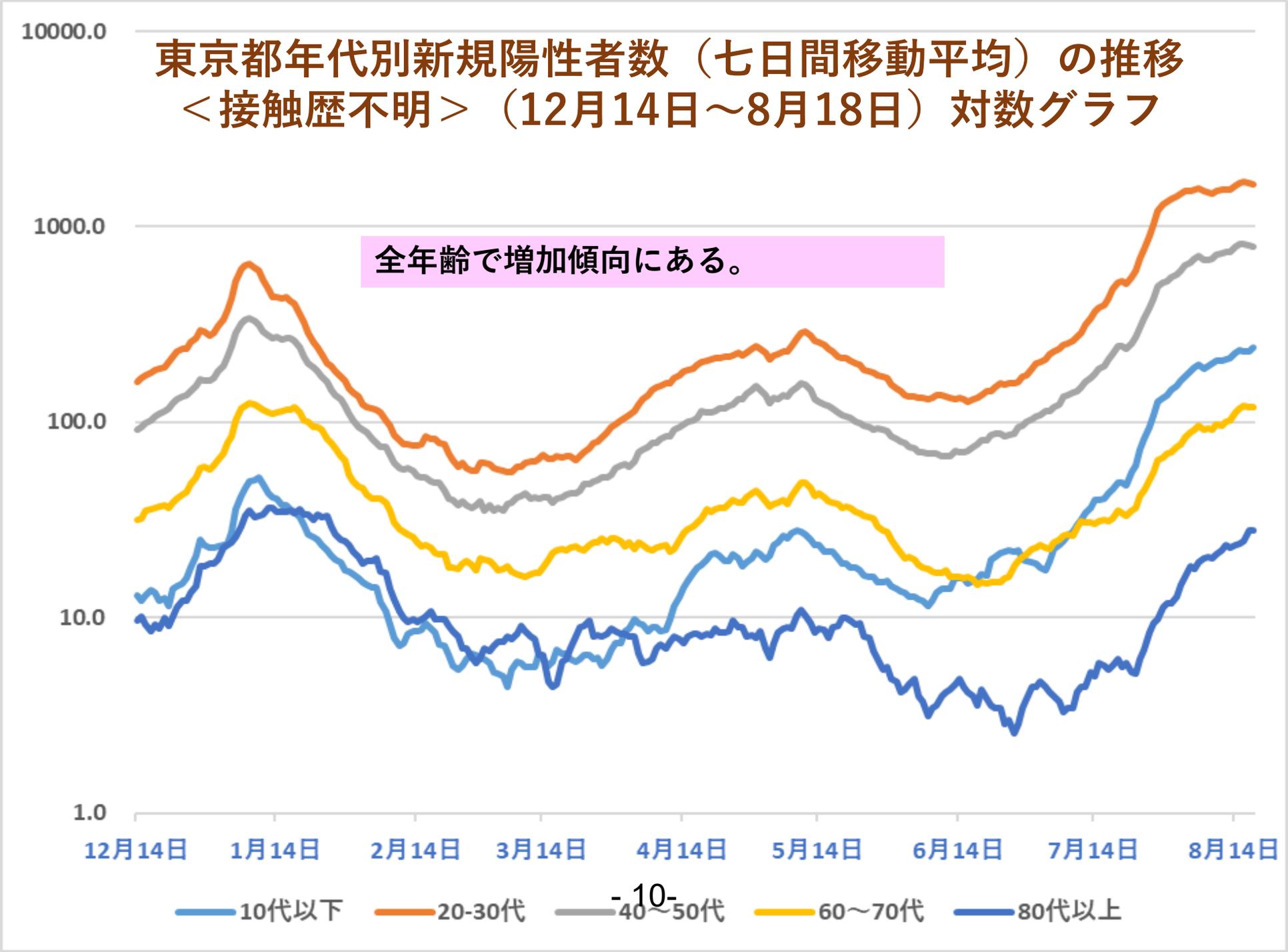
100.0

10.0

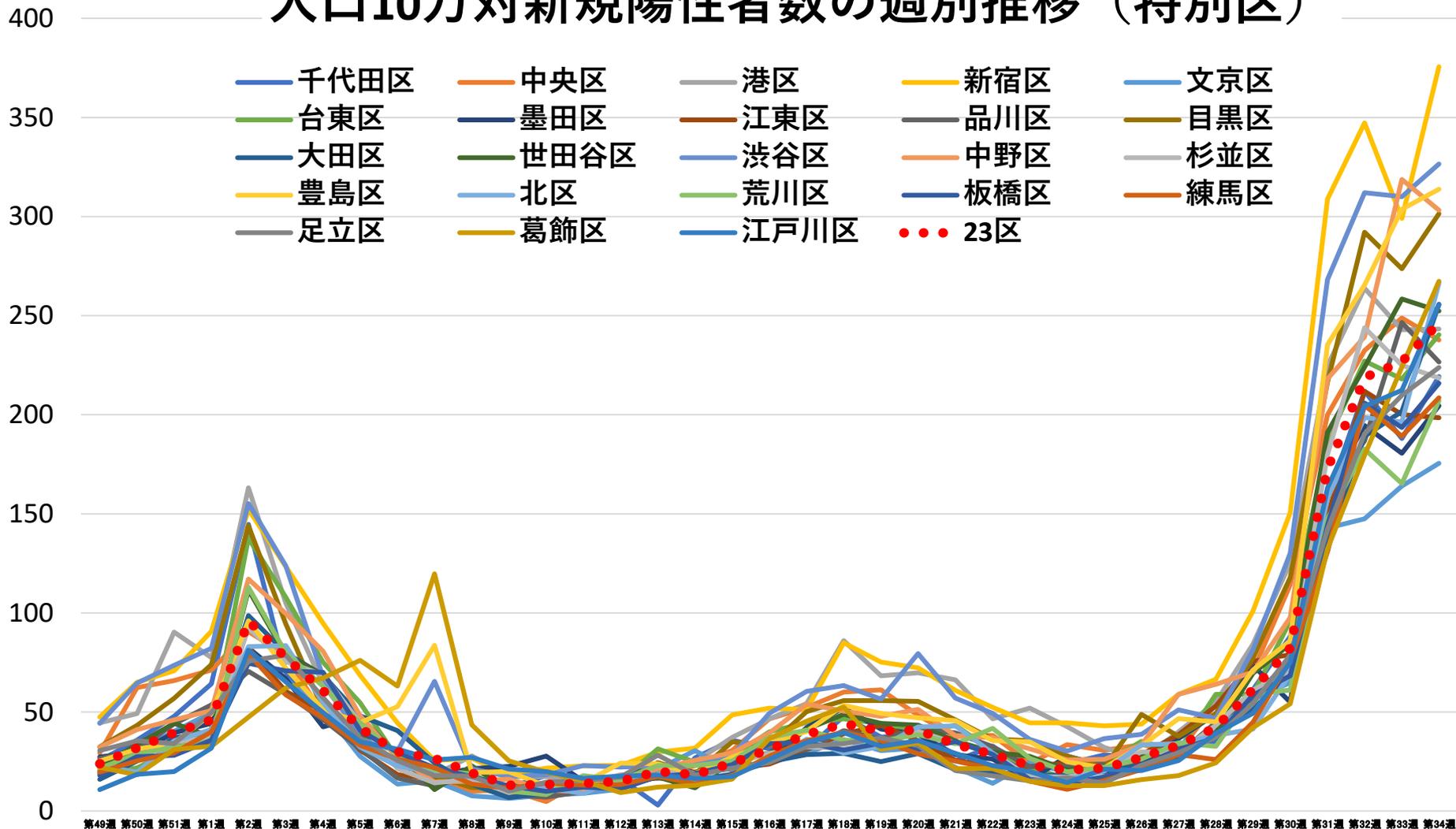
1.0

12月14日 1月14日 2月14日 3月14日 4月14日 5月14日 6月14日 7月14日 8月14日

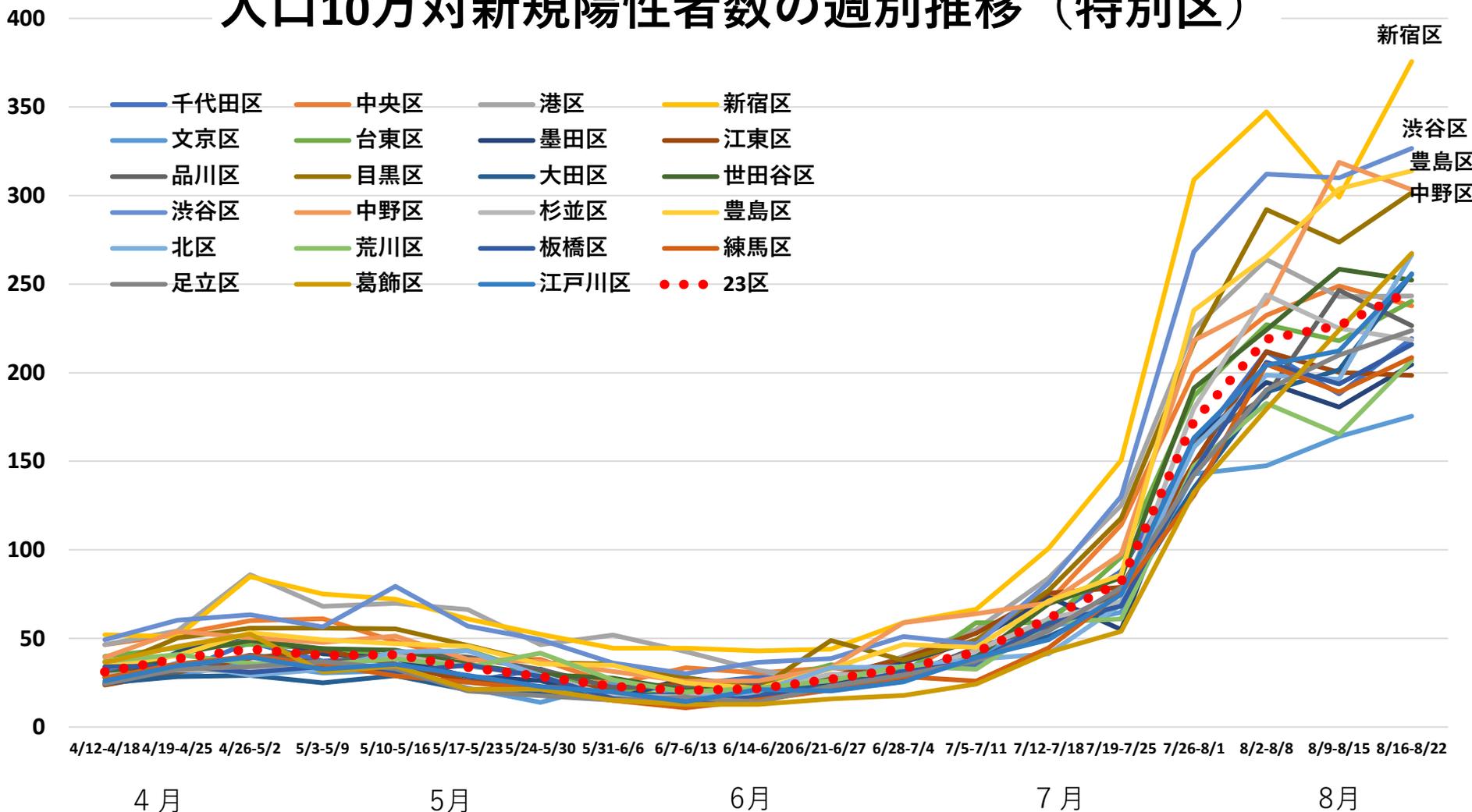
10代以下 20-30代 40~50代 60~70代 80代以上



# 人口10万対新規陽性者数の週別推移（特別区）

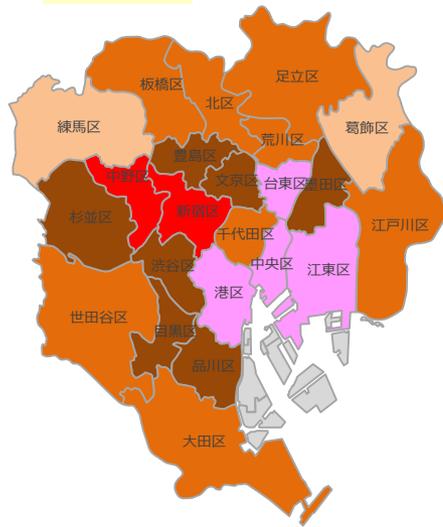


# 人口10万対新規陽性者数の週別推移（特別区）

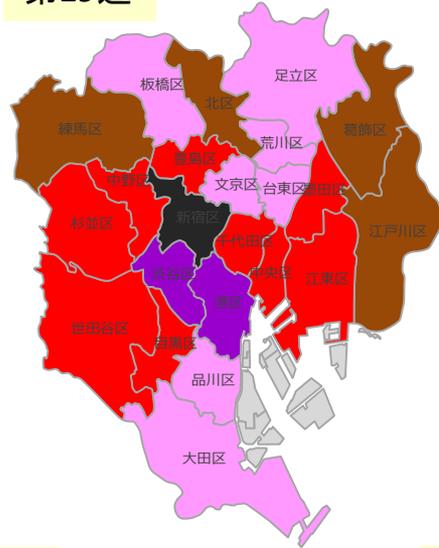


# 区別人口10万対の新規陽性者数地図 第28～34週(7/5～8/22)

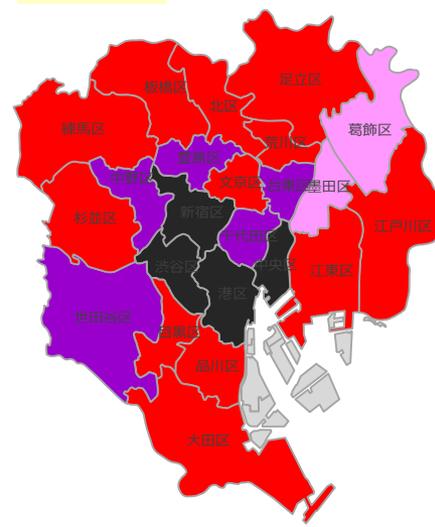
第28週



第29週



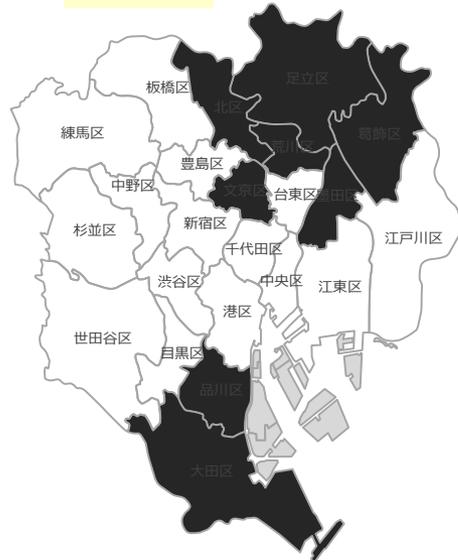
第30週



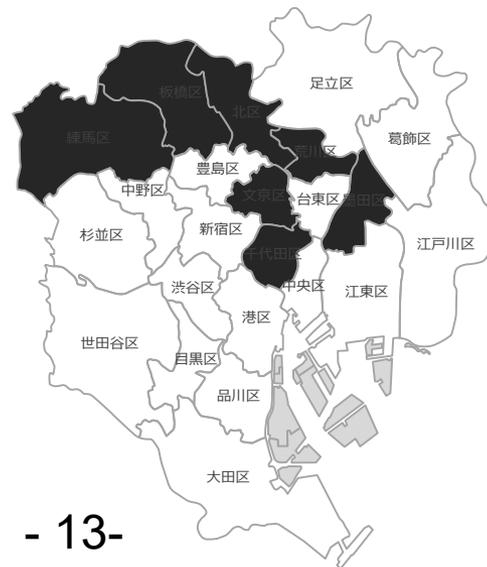
第31週



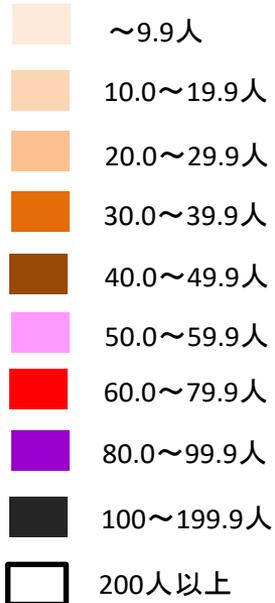
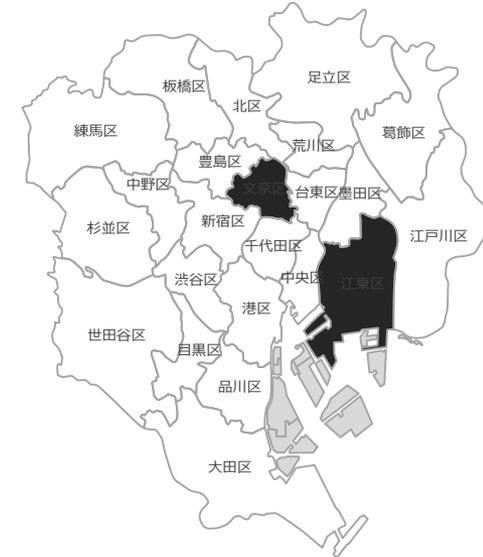
第32週



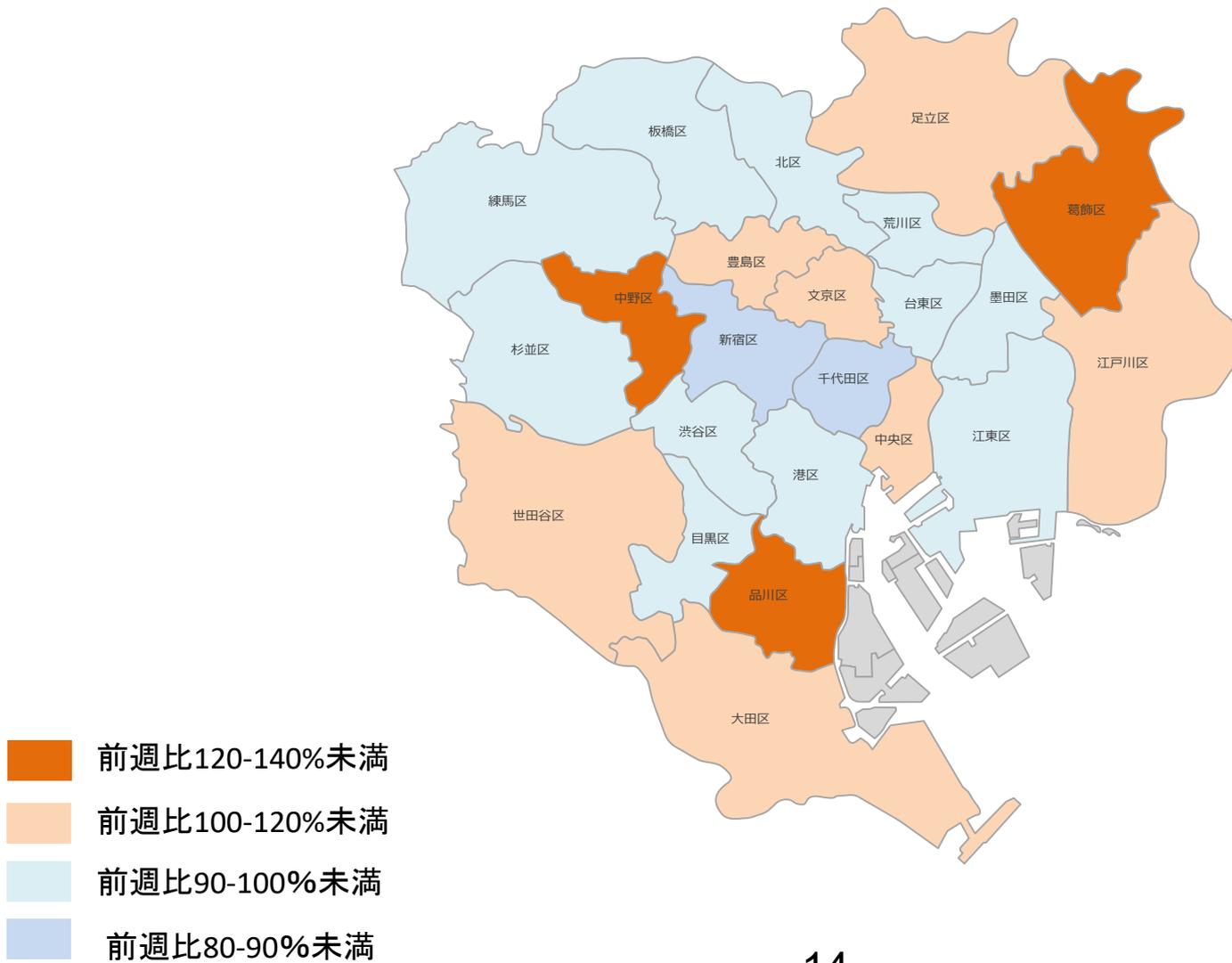
第33週



第34週



# 区別人口10万対の新規陽性者数の変化(第32週と33週比較)



# 区別人口10万対の新規陽性者数の変化(第33週と34週比較)

